

自動調整式溝突きカッター

ホマッグスルーフィード機で1バッチサイズから溝突きが可能



スルーフィード機で個々の家具製品をジャスト・イン・タイムで生産するには加工プロセスの柔軟性が最も重要です。たとえば、異なる背板の厚み用に溝幅を変更する場合、以前は2つの連続するユニットが必要でした。

自動調整式溝突きカッターは、運転中に1ユニットで溝幅を変更することが可能になります。量産時には想像を超える柔軟性と効率性を実現します。

メリット

- 多様な溝幅に対応
- セットアップ時間の短縮
- 少ないユニットによるコスト削減
- 機械長が短く省スペース

特長

- 2.5 mmから可変の溝幅
- 再利用可能なHSKツールホルダー
- 再研磨可能
- 外径140-250 mm
- ホマッグSF30溝突きユニットに対応
- すべての汎用パネル材料に対応
- 受注生産品
- ダイヤモンド刃



2.5 ~ 18.0 mm

■ 可能な溝幅範囲

500 ms

■ 送り速度VF = 30 M/MINで
溝幅を変更

-100 %

■ 機械のセットアップは不要

導入によるメリット ...



柔軟性

多様な溝幅と形状

- 加工材の間で自動溝幅調整
- 加工中の溝形状可変



効率

機械やユニットのセットアップ不要

- ダウンタイムのない溝幅調整
- 必要な溝突きユニットは1つだけ
- 再利用可能なHSKツールホルダーでコスト削減



生産性

スルーフィード生産における製品の多様性の向上

- 最大40 m /分の送り速度で、バッチサイズ1でもより高い生産性
- 長い工具寿命による工具交換の低減

可能な溝幅範囲の例

溝幅(mm)		溝深さ(mm)
から	まで	
2.5	4.5	8.0
3.0	5.5	10.0
4.0	7.5	12.0
5.0	9.5	16.0
6.0	11.5	20.0
7.0	13.5	20.0
8.0	15.5	20.0
9.0	17.5	25.0
9.5	18.0	25.0

プロフェッショナル
な作業：
自動 - 柔軟 - 効率



www.leitz.org

